

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月 ~5日	5月 ~12日	5月 ~19日	5月 ~26日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	2	25	11	19
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	7	26	23	23
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	1
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	0	0	0	5
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	2	2	3	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	1	2	0	0
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	0	1	2	1

( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。  
\*その他は、アエロモナスでした。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第21週(5月20日~5月26日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3			1		2		
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1	1						
四類	7	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	2	1		1				
		日本紅斑熱	4			3		1		
		レジオネラ症	1					1		
五類	7	アメーバ赤痢	1					1		
		水痘(入院例)	1			1				
		百日咳	1			1				
		梅毒	4				1	2		1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、鞆野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島市、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町

東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

# 週報③

## 広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 6年21週(5月20日～5月26日)

### ■コメント

#### 1 手足口病

定点当たり2.95人の報告があり、前週の約1.3倍に増加しました。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

#### 2 咽頭結膜熱

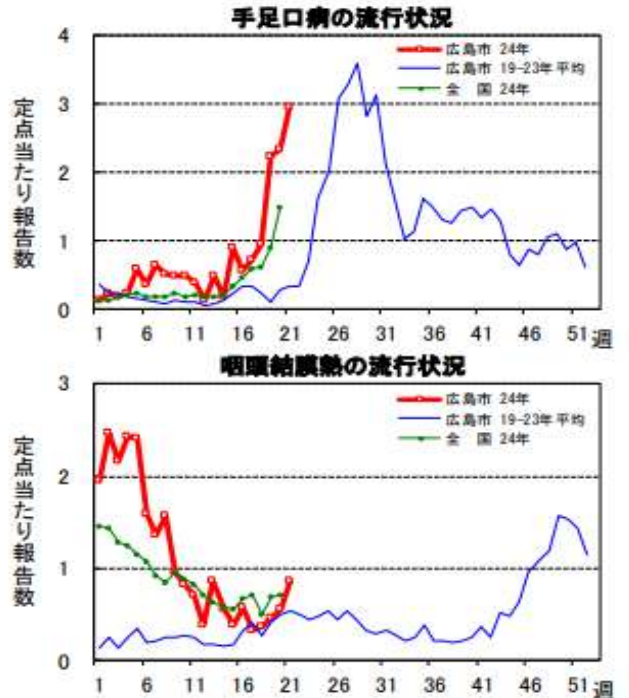
定点当たり0.86人の報告があり、前週の約1.6倍に増加しました。咽頭結膜熱はアデノウイルスによる感染症で、5～7日の潜伏期間の後、発熱、喉の痛み、結膜炎などの症状が出現します。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

#### 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり4.77人の報告がありました。例年より多い状況が続いています。咳エチケットや手洗いの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

#### 4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.97人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。



### ■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	2	0.06	0.67		小児科	ヘルパンギーナ	5	0.23	0.20	
	新型コロナ(COVID-19)	69	1.97				流行性耳下腺炎	1	0.05	0.06	
小児科	RSウイルス感染症	22	1.00	0.77		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	19	0.86	0.54			流行性角結膜炎	9	1.13	0.28	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	105	4.77	1.58		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	107	4.86	5.34			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	17	0.77	0.27			マイコプラズマ肺炎	2	0.29	-	
	手足口病	65	2.95	0.34			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	6	0.27	0.13			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29	0.03	
	突発性発しん	5	0.23	0.35							

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

### ■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	40	70歳代・2人
4	レジオネラ症	1	6	50歳代・市外
5	アメーバ赤痢	1	2	60歳代
5	梅毒	2	53	50歳代、70歳代